

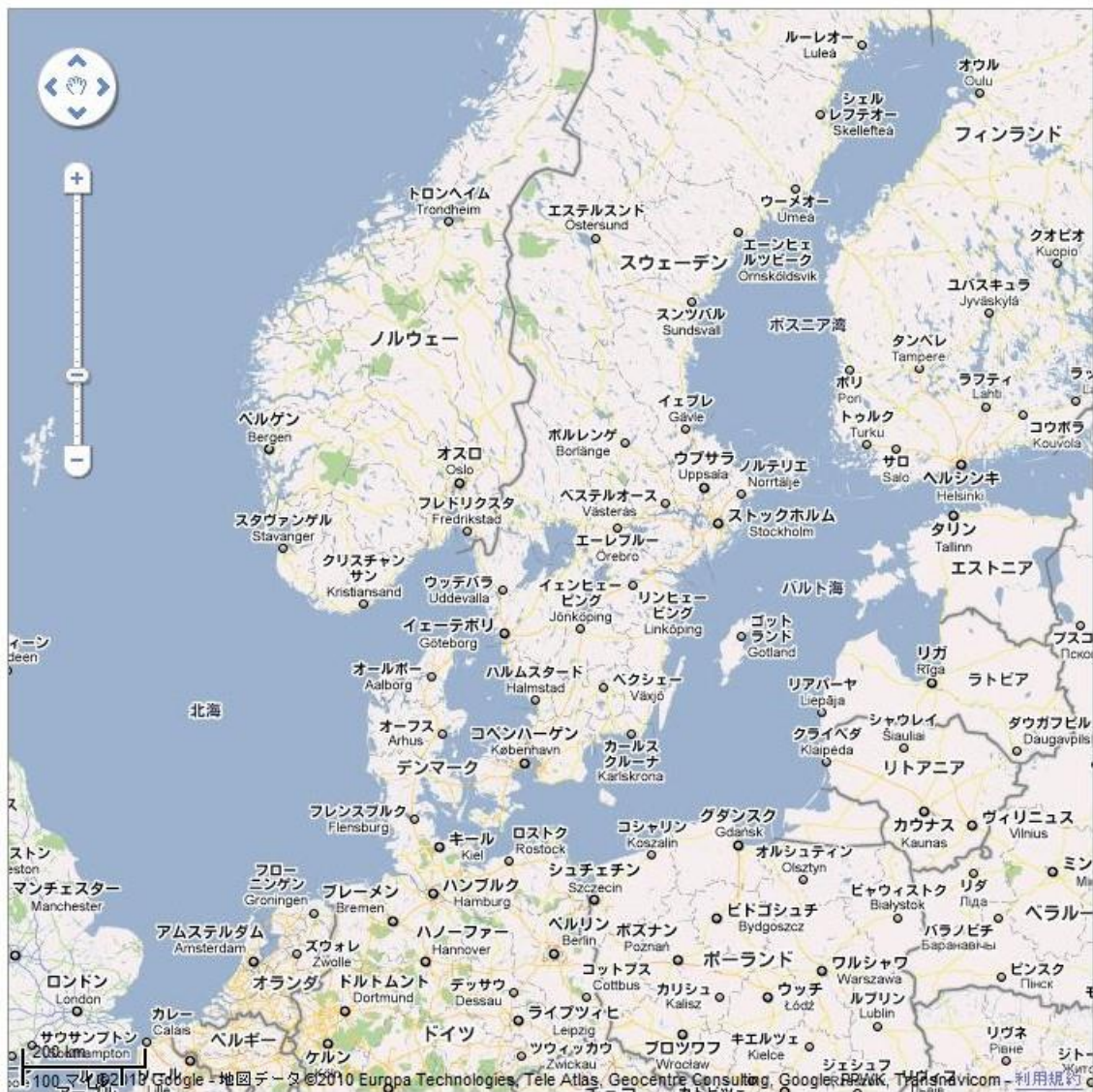
◎北欧、中国の図書館：近世から現代

◆北欧の図書館の特色

- ・19世紀まではドイツ、20世紀からは英米の影響が大きかったといわれている。
- ・1960年代以降、図書館制度が著しく整備され、世界的にも注目される。
- ・公共図書館の運営は、自治体やカウンティ（郡）が担当していることが多い。
- ・著作権者に費用を補償する公貸権の制度。（1946デンマーク、1947ノルウェー、1954スウェーデン）
- ・国の中心的な図書館は王立図書館や大学図書館であり、そのどちらか、あるいは両方が納本図書館。

「王立図書館」の系譜（スウェーデン、デンマーク）

「大学図書館」の系譜（ノルウェー、フィンランド）



1479	デンマーク、コペンハーゲン大学図書館（1989 王立図書館と統合）
1523	《スウェーデン、デンマークより独立》
16世紀頃	スウェーデン、国王の個人蔵書（後の王立図書館。1661 納本制度）
1620	スウェーデン、ウプサラ大学図書館（王立図書館の蔵書の一部を移送。1707 納本制度）
1640	フィンランド、ヘルシンキ大学の基礎（当時はスウェーデン領。1707 スウェーデン出版物の納本。1809 にロシア領。1820 からロシア出版物の納本）
1648頃	デンマーク、国王フレデリック三世個人文庫（後の王立図書館→1665）
1665	デンマーク、王立図書館（1673 独立した新館建築。1697 納本制度。1793 一般公開。1989 コペンハーゲン大学図書館と統合）
1671	スウェーデン、ルント大学図書館（1698 納本制度）
1760	ノルウェー、最初の学術図書館（当時はデンマークの支配下）
1800年代頃	スウェーデン、教区図書館、工業労働者のための図書館（後に公共図書館へ）
	ノルウェー、公共図書館（19世紀後半のアメリカの影響）
1809	《スウェーデンがフィンランドをロシアへ割譲》
1811	ノルウェー、オスロ大学図書館（1815 納本制度。1883 全国書誌編纂）
1814	《デンマークがノルウェーをスウェーデンに割譲》
1900年代	デンマーク、公共図書館（背景に18世紀末社会改革、19世紀国民文化発達）
1902	デンマーク、オーフス国立図書館（1928 オーフス大学図書館を併置し、国立・大学図書館に）
1905	スウェーデン、公共図書館法（1912, 1930 改正。1965 廃止）
	《ノルウェー、スウェーデンより独立》
1914-1918	《第一次世界大戦》
1917	《フィンランド、ロシアより独立》
1920	デンマーク、公共図書館法（全自治体に図書館サービスの提供義務）
1935	ノルウェー、公共図書館法（1947, 1971, 1984 改正）
1939-1945	《第二次世界大戦》
1946	デンマーク、公貸権（図書貸出による著作者の経済的損失を国が補償する）
1947	ノルウェー、公貸権
1954	スウェーデン、公貸権
1989	ノルウェー、国立図書館（2005 新館開館）
	デンマーク、王立図書館とコペンハーゲン大学図書館の統合（1999 新館開館）
1990	ノルウェー、新納本法（対象の多さで、世界で最も包括的）
2006	デンマーク、王立図書館とデンマーク国立科学医学図書館の統合
2017	デンマーク、王立図書館とオーフス国立・大学図書館の統合

◆近現代期の中国の特色

清末期

- ・西洋の科学技術導入が本格化。図書館などの教育文化事情の紹介へ。
- ・日清戦争以後、日本を經由して欧米の図書館理念を受容。

中華民国期

- ・建国：1912年1月。
- ・教育部社会教育司が図書館や通俗図書館、巡回文庫などを担当。
- ・アメリカの図書館に直接学ぶ傾向が強まる。

中華人民共和国期

- ・建国：1949年10月。（中華民国の国民政府は台湾へ移転。2つの中国）
- ・文化部文物局が担当（後に社会文化管理局）。
- ・ソビエト図書館学の導入が急速に進む。
- ・文革（1965～1976）：図書館は3分の1に減少。100万冊以上の図書を失う。



1800年代末～	中国（清）、近代的な図書館の成立
1905	中国（清）、湖南図書館（中国最初の公立図書館）
1909	中国（清）、京師および各省図書館通行章程（中国最初の図書館法規）
1912	《中華民国、成立》
	中華民国、京師図書館開館（1926 国立京師図書館。1928 国立北平図書館。1950 国立北京図書館。1998 国家図書館）
1914-1918	《第一次世界大戦》
1915	中華民国、図書館規程施行（当初は日本の影響。後にアメリカの影響）
1920	中華民国、文華大学図書科（中国最初の図書館学校）
1924	中華民国、北京（北平）図書館協会
1930年代～	日本との戦争で図書館も大きな被害を受ける
1933	中華民国、国立中央図書館（南京に設立。1949 台湾に移転）
1939-1945	《第二次世界大戦》
1945	戦争終結により図書館の復興が進む
1949	《中華人民共和国、成立》
	中華人民共和国、文化部文物局設置（図書館事業等を管理。1950 文化局。1951 社会文化管理局）
1965	中華人民共和国、文革開始（1100 の全国の県以上の図書館が、3 分の 1 に減少）
1970年代後半	文革で閉鎖されていた図書館の復旧
1998	中国国家図書館
2008	中国国家数字図書館